

はりがね 針金でつくったアメンボ

ひつよう とうぐとう
必要な道具等

ビニタイ（ラッピングタイ）（お菓子などの口をふさぐための針金）
ストロー、はさみなど、

じっけんほうほう ＜実験方法＞

- ① ビニタイのしわを伸ばしてまっすぐにする。
- ② ビニタイを3本とも、短く切ったストロー
にそれぞれ2回巻きつける。
- ③ 長さを同じくらいに、そろえる。
- ④ 6本の針金を、昆虫のあしのように曲げる。
- ⑤ 2本は、前の方に出して前あしとする。
- ⑥ 残りの4本は、横にひろげて、中あし・後ろあしにする。
- ⑦ 机に置いたとき、6本のあしが全部机の
面に接触するように先端を1～2cmほど
外側に曲げる。
※6本のあしの先端を、少し上げるのがコツ
- ⑧ 洗面器などに水を入れて、人工アメンボを水の上に静かに置く。
- ⑨ 人工アメンボが水に浮いていることを確認する。



<仕組み・原理>

○水の表面張力を応用した実験です。

○浮かんでいるところに洗剤を一滴たらすとどうなるでしょう。

○実際の昆虫の生態を研究し人工物を作る工学技術の初歩的な入り口になります。

<工夫してみよう>

○うまく水に浮かばなかったら、人工アメンボのあしの長さなどを工夫してみましょう。

○図鑑などでアメンボの生態を調べてみましょう。

○長さや色を変えたり、材料なども家にあるもので工夫したりして、本物のアメンボに

そっくりなものを作ってみましょう。